



清水てつじ

〒520-1121 高島市勝野129-3
TEL 0740-36-2077 FAX 0740-36-0237

http://shimizu-tetsuji.jp



朽木いきものふれあいの里

県議会 レポート

2014年3月発行



2月定例県議会

一般質問

滋賀の自然とふれあう 事業について

Q 朽木いきものふれあいの里センターの設置目的といきさつについての県の考えについて

A 琵琶湖環境部長 自然公園の利用増進と自然保護の普及啓発を推進することが目的として平成4年7月に設置しました。多様な自然環境が身近で、生杉のブナ原生林、小入谷の湿地帯などに観察スポットを設け、自然に触れ、仕組みや恩恵を理解し学習する取組は重要です。



Q 同センターの来訪者減少をどう検証したか

A 琵琶湖環境部長 減少の原因は高島市に新たな観光施設が増加し、類似の自然体験施設との競合によるものと考えます。集客を図る取組は残念ながら利用者増に繋がっていない状況です。

Q 同センターの20年程での解体と残す議論について

A 琵琶湖環境部長 改修費用、来訪者減少等総合的に判断し、見直し計画に基づき廃止としました。高島市と移管協議を行いました。財政負担増、類似施設がある等で整いませんでした。



Q 同センターの利用者の声はどうか

A 琵琶湖環境部長 存続を求める声を聞いており、来年度実施予定のソフト事業「生物多様性普及推進事業」で要望に応えていけると考えます。

Q 「くつき」の森「改修でソフト事業の拠点とする高島市の提案について

A 琵琶湖環境部長 当該施設の改修のための補助金の要望があり、ふれあいの里センター解体費用等の県の負担が大きすぎると判断しました。

Q 小入谷生杉、柏地区の遊歩道の維持管理について

A 琵琶湖環境部長 同センターの廃止に伴い遊歩道も廃止と考えますが、必要なものについては、県立自然公園として管理の中で配慮したいと考えます。



Q 再度ソフト事業を高島市と協議してはどうか

A 知事 今後は被害対策も含めてソフト事業の「生物多様性普及推進事業」を展開したいと考えており、高島市の事業との連携も大変重要です。そのあり方を検討していきます。



県民生活にとつての 鉄道の充実について

Q 3千人未満の駅のバリアフリー化について

A 土木交通部長 湖西線のように高架駅など特段事情のある駅は、優先的に国庫の補助対象となるよう要望しています。高島市から強い要望の新旭駅は、基本構想策定に向け、市と調整を進めています。JR西日本や国に対しても働きかけたい。

Q 湖西線強風対策の状況把握と要請について

A 土木交通部長 防風柵を設置した比良駅から北小松駅の運転見合わせは減少しましたが、防風柵のないところでの強風等で運休や停止するケースが増えています。現状を踏まえ、最重点項目として、JR西日本に対し、新たに比良駅から蓬萊駅の防風柵延伸を強く要望しました。

Q 湖西線40周年記念事業の県の参加と支援について

A 土木交通部長 実行委員会に参画し、記念事業を支援したいと考えます。北陸新幹線が敦賀まで開業する平成37年には、新幹線型車両がそのままフリーゲージトレインとして運行されます。高島市では将来を見据えた新たな取り組み方を検討されており、県も支援したいと考えます。



	平成22年度	平成23年度	平成24年度
近江高島駅	1,662	1,684	1,652
安曇川駅	4,066	3,872	3,866
新旭駅	2,150	2,176	2,302
近江今津駅	4,706	4,526	4,484
近江中庄駅	326	330	324
マキノ駅	648	622	642
合計	13,558	13,210	13,270

JR湖西線は、市民生活にとって重要な公共交通機関であります。多くの皆様が乗降して頂き、JR湖西線の充実にご協力をお願いします。

子ども家庭相談センター3ヶ所目決定
設置場所については、出来る限り高島市に近いところを要望して参ります。

会派調査

1/30
~31
福井県へ

福井県立恐竜博物館

この施設は、平成21年に教育委員会から観光営業部へと移管されました。海外からの集客も視野に入れた企画営業、メディア協働、実物標本に拘った研究員のネットワーク体制など、発信と努力を重ね全国的に知名度の高い博物館へと成長を遂げられています。

滋賀県立琵琶湖博物館のリニューアルを控え、より集客力の高い魅力ある施設のあり方について大変参考になりました。



ファースト ウッド(株)

集成材を中心に、福井県産材や高品質な国産材、輸入材の仕入れや、各地で切り出された原木を製材し、全国各地へ販売されています。我が国の木材市場の動向、又、当会社と滋賀県との流通状況、人員の確保、国の制度の状況について伺いました。



福井県庁

①「北陸新幹線に関する取り組み」について
福井県は、北陸新幹線金沢開業に向け、「福井県新高速交通ネットワーク活用対策プラン」を策定し、観光地のレベルアップ、二次アクセスの充実、誘客プロモーションの強化など、積極的に取り組まれています。本県の新幹線計画への貴重な学びを得ました。

②「学力向上に向けた取り組み」について
学力体力とも毎年上位に位置する福井県の教育は、子ども達の基本的な生活習慣がしっかり確立されている風土の中で、「丁寧な教育」を教育の「スローガン」の下で行われています。昨年の「全国学力、学習状況調査」で全国最下位層にランクされた本県教育の改善に向けて様々なヒントを頂きました。

③「平成30年福井国体に向けた取り組み」について
福井国体に向けて、開催会場の選定・整備、選手の強化・育成について伺いました。平成36年に控えた滋賀国体を前に、本県が取り組むべき、施設整備、競技力向上に向けた取り組みに関して大変参考になりました。



県議会議事堂内の食堂にて(社会福祉法人が運営)

2/5 滋賀県警察 科学捜査研究所へ

科捜研では、犯罪の手がかりとなる証拠を鑑定・分析し、事件解決へと結びつけるための捜査が行われています。近年の犯罪手口の高度化・多様化に対応するため、研究員のスキルアップ、第一線の捜査本部間との連携体制、早期犯罪解決に向けた鑑定体制、最新の捜査技術について伺いました。

